

過の説明があり 各国からの希望が述べられている。

(10) 「国連の関連活動」については 国連として行なった石油資源開発に関する技術援助 同様に研修技術交流を目的とする会議の開催 調査研究計画の策定 各国政府からの問い合わせに対する助言などについて説明されている。

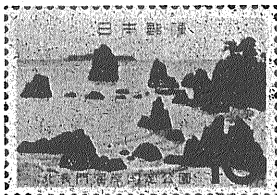
(11) 最後に 本大会としては 次の第4回 ECAFE 石油資源開発シンポジウムは 1969年 オーストラリアにおいて開催することを要望すると述べ とくに本文中にも述べたように 次回の会議日数は今回よりも多くするように希望されている。

V 概要の報告をむすぶに当って

以上のように 大きな成果を収めて第3回 ECAFE 石油資源開発シンポジウムは1段落を告げた。 思えば年度初めの準備のころから たいへんなことだろうと予期して迎えた大会ではあったが 今にして やはりたいへんであったという感じが深い。

最終日 20日の閉会式後参加者総員の記念撮影が終了後も 会場を立ち去りがたい風情で三三伍伍 庭内を逍遙している各国代表団員の肩さきに「ホッ」とした様子のうかがわれたのも やはり皆さんがたいへんであったからであろう。 この稿をむすぶに当たって 改めて この大行事を大過なく終着まで運んだ関係者一同の努力に対して 深く感謝の意を表し 今後の発展を祈って筆をおく。

(筆者は燃料部長)



地学
と
切手

北長門国定公園 堀内 恵彦

本州の西端 山口県の日本海に面し 旧幕時代に毛利氏86万石の城下町として栄え 幕末から明治維新にかけて多くの偉人を出た萩市を中心に 東は江崎須佐湾から西は大津郡油谷湾に至る 約90km にわたる海岸と 沿岸に点在する島々が公園指定地区で 約80.3km²の範囲です。 この公園の中心は なんとといっても「海上アルプス」の別称をもつ青海島で 公園地域の西に近く仙崎港の正面にみられます。 そのほか 須佐湾・六ツ島等の風景も ぜひ一度は見ておきたいものです。 交通の便は 表日本に比べるとまだ不便ですが バス・ジープルカーの発達で おいおいに便利になっています。 冬季における日本海の荒波により形成された豪快雄大な景観は 全く他では望めないものです。

青海島 は面積約18km² 周囲 40km 余の小島ですが 前述の日本海の荒波に浸された北部を中心に東西を含む三方面は 100m におよぶ断崖絶壁に 洞門・石柱・岩礁が点在し 壮大な海食の景観を呈しています。 この海岸は 石英斑岩・砂岩・輝緑凝灰岩などの岩石で構成されているためその岩質により海食の度が異なるので この奇勝となったものです。 この地の探勝は四季を通じて可能ですが とくに冬季に この岩壁に押し

寄せる荒波が作り出す 狂瀾怒濤の壮観は 全く他に比べるものがありません。

青海島東南部の通(かよい)部落には くじらの墓があります。 これは元禄五年(1692年)の建立で 高さ約2.4m 正面に 南無阿弥陀仏と彫っており また この所属する向岸寺には くじらの位牌と過去帳が保存されており。 これらは 子鯨を思ふ親鯨の心情をあわれんで 漁人が捕えた日を命日とし 戒名をつけて菩提をとむらったもので 仏教信仰に篤い 漁人の美風といえましょう。 通部落の西 大日比の西本家の邸内には なつみかんの原樹があります。 これは 今から約200年前の安永年間に 漂着した夏みかんの果実を拾い 種子をまいたものが育ったのだといわれ 現在萩地方名産の夏みかんは この地から種子をわけたといわれ 史蹟天然記念物に指定されています。

竜宮の潮吹穴…公園区域の西端 大津郡油谷町津黄にあり 玄武岩にできた竜宮窟とよばれる洞窟があつて この洞窟の上の岩盤に 細い割れ目があり 波が打ち寄せて 海水が洞内に突入すると 洞内の空気が圧縮され 割れ目から外に出ようとし奇声をあげ 数十メートルの高さまで 海水を吹き上げ 波の高いときは200mもの高さまで達するといわれます。 この付近は魚が多くしろうとでも タイ・チヌ・ホウボウ等を釣ることができます。 また 公園区域にははいりませんが 近くに長門湯本・俵山の両温泉(ともに単純泉)があり 俵山温泉は 国民温泉に指定されています。 切手の図案に採用されたのは 青海島北岸の ほぼ中央部にある 十六羅漢と呼ばれる岩礁風景で その岩礁・石柱などが 海岸から海中にかけて点在する様子から名付けられたもので 昭和37年2月15日の発行です。

(筆者は元所員 現科学技術情報センター)